

## 平成17年第3回中頓別町議会定例会会議録

### ○議事日程（第2号）

平成17年9月30日（金曜日） 午前10時20分開議

- 第 1 議案第10号 平成17年度中頓別町一般会計補正予算
- 第 2 議案第11号 平成17年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計補正予算
- 第 3 認定第 1号 平成16年度中頓別町一般会計歳入歳出決算認定について
- 第 4 認定第 2号 平成16年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 5 認定第 3号 平成16年度中頓別町自動車学校事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 6 認定第 4号 平成16年度中頓別町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 7 認定第 5号 平成16年度中頓別町老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 8 認定第 6号 平成16年度中頓別町国民健康保険病院事業会計歳入歳出決算認定について
- 第 9 認定第 7号 平成16年度中頓別町水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第10 認定第 8号 平成16年度中頓別町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第11 認定第 9号 平成16年度中頓別町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第12 発議第 1号 個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書（案）
- 第13 発議第 2号 自治体財政の充実・強化を求める意見書（案）
- 第14 発議第 3号 中頓別農業高校施設等利活用対策調査特別委員会設置決議（案）
- 第15 閉会中の継続調査申出について

### ○出席議員（10名）

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1番 星川三喜男君 | 2番 岩田利雄君  |
| 3番 山本得恵君  | 4番 柳澤雅宏君  |
| 5番 本多夕紀江君 | 6番 藤田首健君  |
| 7番 石井雄一君  | 8番 村山義明君  |
| 9番 宮崎安史君  | 10番 石神忠信君 |

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町	長	野	邑	智	雄	君						
助	役	矢	部	守	世	君						
教	育	長	福	家	義	憲	君					
総	務	課	長	安	積	明	君					
総	務	課	参	事	小	林	生	吉	君			
総	務	課	参	事	遠	藤	義	一	君			
産	業	建	設	課	長	尾	本	導	弘	君		
産	業	建	設	課	参	事	柴	田	弘	君		
産	業	建	設	課	主	幹	中	原	直	樹	君	
保	健	福	祉	課	長	石	川	篤	君			
保	健	福	祉	課	参	事	竹	内	義	博	君	
教	育	次	長	米	屋	彰	一	君				
給	食	セ	ン	タ	ー	所	長	菊	地	誠	治	君
教	育	委	員	会	主	幹	藤	井	富	子	君	
天	北	厚	生	園	長	千	葉	辰	雄	君		
天	北	厚	生	園	次	長	家	入	隆	君		
国	保	病	院	事	務	長	高	井	秀	一	君	
農	業	委	員	会	長	竹	内	輝	幸	君		
事	務	局	長									

○職務のため出席した事務局職員

議	会	事	務	局	長	和	田	行	雄	君		
議	会	事	務	局	書	記	高	井	水	脈	子	君

◎開議の宣告

○議長（石神忠信君） これから本日の会議を開きます。

（午前10時20分）

◎議案第10号

○議長（石神忠信君） 日程第1、議案第10号 平成17年度中頓別町一般会計補正予算の件を議題とします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（野呂智雄君） 議案第10号 平成17年度中頓別町一般会計補正予算につきましては、総務課長に内容の説明をいたさせます。

○議長（石神忠信君） 安積総務課長。

○総務課長（安積 明君） 議案第10号 平成17年度中頓別町一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の補正では、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,480万9,000円を追加し、歳入歳出それぞれ37億5,069万4,000円とするものでございます。

今回の補正は、小頓別小中学校、中頓別中学校、町民センターの各施設並びに給食センター調理機器に係るアスベスト関連対策関連予算の計上であります。

事項別明細書、5ページをお開きいただきたいと思います。10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費では、既定額に3,010万9,000円の追加補正で、内容は小頓別小中学校におけるアスベスト粉じん環境測定経費7万9,000円、同校舎のアスベスト撤去工事費3,003万円をそれぞれ計上。

3項中学校費、1目学校管理費では、既定額に4万8,000円の追加補正で、内容は中頓別中学校における粉じん環境測定経費、同校音楽教室天井材アスベスト分析試験経費、合わせて4万8,000円を計上。

4項社会教育費、2目町民センター費では、既定額に461万円の追加補正で、内容は町民センター大ホール粉じん環境測定経費として5万3,000円、同センターステージ天井アスベスト撤去工事455万7,000円を計上。

5項保健体育費、5目学校給食費では、既定額に4万2,000円の追加補正で、内容は給食センター調理器具、揚げ物機アスベスト分析試験経費として4万2,000円を計上したところであります。

なお、小頓別小中学校における2カ所のアスベスト分析試験経費4万2,000円、町民センターのアスベスト分析計費2万1,000円については、既存予算を調整して執行しておりますので、今回の補正では計上しておりません。

歳出合計、既定額に3,480万9,000円追加し、予算総額を37億5,069万

4, 000円とするものであります。

4ページ、歳入です。18款繰入金、1項基金繰入金、5目財政調整基金繰入金は、3,480万9,000円を新規に補正するものでありまして、財政調整基金取り崩しにより今回の補正の財源とするものであります。

歳入合計、既定額に3,480万9,000円追加し、歳入総額を37億5,069万4,000円とするものであります。

以上、説明申し上げました。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（石神忠信君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

柳澤さん。

○4番（柳澤雅宏君） アスベストの撤去工事についてですけれども、特定の工事というか、だれでもかかれでもできるような工事ではないと思うので、その点で対応できる業者の状況というか、どこら辺におおむねどの程度対応できる業者がいてというような対応できる業者の状況なんかがわかればお答えいただきたいと思います。

○議長（石神忠信君） 尾本産業建設課長。

○産業建設課長（尾本導弘君） お答えいたします。

アスベストの除去工事ができるのは、町内業者ではおりません。それで、いろいろ調査したところ、大手ゼネコンが数多くの実績が上がってきております。古いものと昭和62年から除去が入っておりますので、大手ゼネコンを主に進めたいと、このように考えております。

○議長（石神忠信君） 柳澤さん。

○4番（柳澤雅宏君） 何社ぐらい。

○議長（石神忠信君） 何社ぐらいありますかということです。

○産業建設課長（尾本導弘君） お答えいたします。

大手ゼネコンで、札幌圏が主であります。札幌圏で町内に指名願が出ているのが5社程度ございます。その中の3社につきましてはある程度調査しておりますけれども、ほかの2社については調査しておりません。

○議長（石神忠信君） 柳澤さん。

○4番（柳澤雅宏君） それでは、実際に工事をやってもらうという段階になって、業者の選定というのはその5社の入札になるのか、どういう形で業者を選定するか、その点についてお伺いしたいと思います。

○議長（石神忠信君） 矢部助役。

○助役（矢部守世君） 業者の選定にかかわってでありますけれども、今回のこの件につきましては非常に緊急性、重要性がありましたので、調査段階から業者に協力をいただいております。工事が可能な業者というのはそれなりにいろいろな今回の事案を請け負って動いております。なかなか業者選定が難しいということから、1社に絞って、もう既に調査等の協力を得ております。そういったことで、今回この予算が議決されましたら、即

1社随契で工事の発注をしていきたいというふうに考えております。その1社につきましては、札幌市の伊藤組土建であります。そういったことで、小頓別小中学校あるいは町民センター等々の施設の調査も含めて協力をいただいたということから、1社随契で発注していきたいというふうに考えております。入札行為等を行っていけばそれなりに時期がおくれるという特別の事情もありまして、そういったことで進めさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（石神忠信君） 山本さん。

○3番（山本得恵君） きょう補正を組まれた以外の公共物、公の施設、全部検査は終わったのですか、それともこれからまだそういう検査をする場所があるのかなのか。

○議長（石神忠信君） 安積総務課長。

○総務課長（安積 明君） 公共施設としては一通り調査をしておりまして、今の段階では今回補正したような状況は今後ないものと考えております。一通り終わったという認識です。

○議長（石神忠信君） 矢部助役。

○助役（矢部守世君） 私の方から若干補足をいたしますけれども、施設関係では今総務課長が言ったとおりであります。ただ、備品関係で、先般9月28日付の北海道新聞にも掲載されておりましたけれども、各学校における理科実験台にアスベストが含まれているということで、札幌市の状況が掲載されておりました。その新聞記事を見てすぐ、教育委員会を通じて各学校に今調査中であります。そういったことで、アスベストの含有の結果次第では理科実験台の更新等々、修繕も含めて生じてくる可能性はないわけではないということで、今調査中でありますので、今回の補正予算には計上されていないということでありますので、ご承知おきをいただきたいなというふうに思います。

○議長（石神忠信君） 石井さん。

○7番（石井雄一君） けさの道新にも出ていたのですけれども、国の方は今回のあれについては認めないような感じの内容の報道がされていたのですけれども、患者とかそういった方の救済はしていきたいということで新聞に載っていました。それで、星川さんの一般質問にもあったのですけれども、国の方に今回のかかった費用などを見てもらうようなことでしていかなければならないのではないかなというふうに自分らは思うのですけれども、当然議会としてもそういう動きをした方がいいなと思うのですけれども、町の方はどういうふうに考えていますか、その辺をお伺いしたいと思います。

○議長（石神忠信君） 町長。

○町長（野呂智雄君） 私の方は、宗谷町村会等でこの問題の提起も考えておりますし、また12区の自民党の移動政調会がこれから開催されるということで今準備をしていますので、そこにこのアスベストの問題も提起をしていきたいと、財政支援の提起をしていきたいと、このように考えているところでございます。

○議長（石神忠信君） ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) 質疑なしと認め、質疑を終結し、討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第10号 平成17年度中頓別町一般会計補正予算について採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第10号 平成17年度中頓別町一般会計補正予算は原案のとおり可決されました。

### ◎議案第11号

○議長(石神忠信君) 続きまして、日程第2、議案第11号 平成17年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計補正予算の件を議題とします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長(野呂智雄君) 議案第11号 平成17年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計補正予算につきましては、千葉天北厚生園長に内容の説明をいたさせます。

○議長(石神忠信君) 千葉天北厚生園長。

○天北厚生園長(千葉辰雄君) 議案第11号 平成17年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計補正予算についてご説明いたします。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ44万7,000円を追加し、歳入歳出それぞれ2億6,375万2,000円とするものであります。

内容につきましてはアスベスト関連で、私どもが使用しておりました食器消毒保管庫がアスベストが含有されていると、今後飛散のおそれがあるということで補正をしたものであります。

事項別明細書、4ページからご説明いたします。1款知的障害者支援費は、既定の予算額に44万7,000円を追加し、2億6,370万1,000円とするものであります。

1目事務費、既定の予算額に同額の44万7,000円を追加し、2億3,331万8,000円とするものであります。内容につきましては、今まで使用しておりました食器消毒保管庫撤去費として3万7,000円、食器消毒保管庫100食分のを1台購入する分として41万を計上したものであります。

歳出総額、既定の予算額に44万7,000円を追加し、2億6,375万2,000円とするものであります。

続きまして、歳入、3ページをご説明いたします。1款施設訓練等支援費収入、1目施設訓練等支援費収入、既定の予算額に44万7,000円を追加し、2億1,294万5,

000円とするものであります。内容につきましては、施設訓練等支援費の現年度分で44万7,000円を追加するものであります。

歳入、既定の予算額に44万7,000円を追加し、2億6,375万2,000円としたものであります。

歳入歳出のバランスをとっておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（石神忠信君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第11号 平成17年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計補正予算について採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第11号 平成17年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計補正予算は原案のとおり可決されました。

#### ◎認定第1号～認定第9号

○議長（石神忠信君） 続きまして、日程第3、認定第1号 平成16年度中頓別町一般会計歳入歳出決算認定の件から日程第11、認定第9号 平成16年度中頓別町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件まで一括議題とします。

決算審査特別委員長の報告を求めます。

本多さん。

○決算審査特別委員長（本多夕紀江君） 9月29日から本日まで、平成16年度中頓別町各会計決算審査を行いましたので、その結果をご報告申し上げます。

お手元に配付した委員会審査報告書のとおり、認定第1号 平成16年度中頓別町一般会計歳入歳出決算認定から認定第9号 平成16年度中頓別町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定まで、本委員会はすべて認定と決しました。

なお、認定に当たり、地方自治法第233条第6項に基づき、町は決算の認定に関する議会の議決及び監査委員の意見の内容を住民にわかりやすく公表すべきこと、執行方針に取り上げられた政策的事業に関して確実に執行するとともに、実施された場合は事業評価を行うべきとの2点の意見が付されておりますので、ご報告いたします。

○議長（石神忠信君） 報告が終わりましたので、これから認定第1号 平成16年度中頓別町一般会計歳入歳出決算認定の件から認定第9号 平成16年度中頓別町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件までを採決いたします。

これらの決算に対する委員長報告は、すべて認定とするものでございます。

これらの決算は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) ご異議なしと認めます。

よって、認定第1号 平成16年度中頓別町一般会計歳入歳出決算認定から認定第9号 平成16年度中頓別町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定までの9会計の決算につきましては、すべて認定することに決しました。

◎発議第1号

○議長(石神忠信君) 続きまして、日程第12、発議第1号 個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書(案)について議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

柳澤さん。

○4番(柳澤雅宏君) 発議第1号。

平成17年9月30日、中頓別町議会議長、石神忠信様。

提出者、中頓別町議会議員、柳澤雅宏。賛成者、同じく、村山義明。

個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書(案)。

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書(案)。

趣旨については、さきの28日に請願をご審議いただいたときにご説明申し上げましたので、同じ趣旨でございますので省略させていただいて、意見書のところだけ朗読させていただきます。

国は、各種控除の縮小・廃止に言及する前に、まず着実な景気回復により税収の自然増をはかるとともに、歳出削減をはじめ国民が納得できる歳出構造改革を行うべきである。あわせて、所得捕捉格差の是正をはじめとする不公平税制の是正を早期に実施すべきである。また、所得税から個人住民税への税源移譲にあたっては、国民の税負担が税源移譲の前後で変化しないよう、十分な配慮措置を講じるべきである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成17年9月30日、北海道中頓別町議会議長、石神忠信。

提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣。

以上でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

○議長(石神忠信君) 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) 質疑なしと認め、質疑を終結し、討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) 討論なしと認め、討論を終結し、これより発議第1号 個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書(案)を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) ご異議なしと認めます。

よって、発議第1号 個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書は原案のとおり可決されました。

◎発議第2号

○議長(石神忠信君) 続きまして、日程第13、発議第2号 自治体財政の充実・強化を求める意見書(案)の件を議題とします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

本多さん。

○5番(本多夕紀江君) 発議第2号。

平成17年9月30日、中頓別町議会議長、石神忠信様。

提出者、中頓別町議会議員、本多夕紀江。賛成者、中頓別町議会議員、岩田利雄。

自治体財政の充実・強化を求める意見書(案)。

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

自治体財政の充実・強化を求める意見書(案)。

この意見書の趣旨につきましては、請願提出のときに説明しておりますので、省略したいと思います。

1. 地方財政再建と地方自立につながる財政改革にむけて、当面、閣議決定のとおり、概ね3兆円の税源移譲を確実に行うこと。

2. 生活保護負担金は国の義務的経費であり、国庫負担率引き下げは地方への単なる負担転嫁に過ぎないため、国庫負担率の引き下げを行わないこと。

3. 地方が裁量権や自由度を拡大し、地方自治体の自立と分権改革の基盤確立をめざすためにも、2007年度以降も継続して税財政改革を継続すること。

4. 国が法令に基づく事業実施を自治体に義務づけ、自治体間の財政力格差が大きい現状においては、地方交付税制度の財源保障と財政調整の機能を堅持し、自治体の安定的な財政運営に必要な地方交付税の総額を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成17年9月30日、北海道中頓別町議会議長、石神忠信。

提出先、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣。

以上でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

○議長(石神忠信君) 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石神忠信君) 質疑なしと認め、質疑を終結し、討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（石神忠信君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより発議第2号 自治体財政の充実・強化を求める意見書を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） ご異議なしと認めます。

よって、発議第2号 自治体財政の充実・強化を求める意見書は原案のとおり可決されました。

### ◎発議第3号

○議長（石神忠信君） 続きまして、日程第14、発議第3号 中頓別農業高校施設等利活用対策調査特別委員会設置決議（案）の件を議題とします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

村山さん。

○8番（村山義明君） 発議第3号。

中頓別町議会議長、石神忠信様。

提出者、中頓別町議会議員、村山義明。賛成者、中頓別町議会議員、石井雄一。

中頓別農業高校施設等利活用対策調査特別委員会設置決議（案）。

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

中頓別農業高校施設等利活用対策調査特別委員会設置決議（案）

次のとおり特別委員会を設置するものとする。

### 記

1. 名 称 中頓別農業高校施設等利活用対策調査特別委員会
2. 設置の根拠 地方自治法第110条及び委員会条例第5条
3. 目 的 中頓別農業高校の施設等の利活用対策の調査
4. 委員の構成 10名
5. 調査の期間 本委員会は、目的に掲げる事項が終了するまで閉会中もなお調査を行うことができる。

### 【提出理由】

中頓別農業高校の廃校にあたり、地域に及ぼす影響を最小限に食い止めるため、施設等の利活用対策を調査する必要があり本委員会を設置する。

以上、よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（石神忠信君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより発議第3号 中頓別農

業高校施設等利活用対策調査特別委員会設置決議（案）を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） ご異議なしと認めます。

よって、発議第3号 中頓別農業高校施設等利活用対策調査特別委員会設置決議は原案のとおり可決されました。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前10時49分

再開 午前10時52分

○議長（石神忠信君） 休憩前に戻り会議を開きます。

◎閉会中の継続調査申出について

○議長（石神忠信君） 日程第15、閉会中の継続調査申出の件を議題とします。

本件について、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会の各委員長からお手元に配付したとおり申し出があります。

お諮りします。本件について各委員長の申し出のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石神忠信君） ご異議なしと認めます。

よって、閉会中の継続調査については各委員長の申し出のとおり決しました。

◎閉会の宣告

○議長（石神忠信君） これで本日の日程はすべて終了いたしました。

会議を閉じます。

平成17年第3回中頓別町議会定例会を閉会といたします。

（午前10時55分）